

入院診療計画書(心臓カテーテル検査を受けられる方へ)

診療科：循環器内科
病名：虚血性心疾患
症状：胸痛

入院病棟：

患者ID：
名前：
入院期間：約 2日間

経過 (日付)	入院日		【退院予定日】	退院後 初回受診時
	検査前	検査後		
	月	日	月	日
到達目標	・入院生活について理解できる。 ・検査データに問題なく、検査に向けて準備ができる。 ・検査や合併症について理解ができる。 ・風邪などの感染徴候がない。		・血圧や脈拍が安定している。 ・合併症(穿刺部の異常)の症状・所見がない。 ・安静度が守られている ・胸部症状がない	【退院の目処】 ・穿刺部に問題がない ・胸部症状がない
治療・処置	・身長・体重を測ります。 ・化粧等を落としてください。 【足から検査】臍径部の除毛をします。足の甲に印をつけます。 ・持参薬をお預かりします。(医師の指示のもとで服用していただきます)	・検査着に着替えます。 ・貴重品をはずして下さい。 (義歯・指輪・時計など) ・点滴をはじめます。 【手からの検査】手首・甲から穿刺のする場合は穿刺部位に痛み止めテープを貼ります。	・圧迫をしている部位をゆるめます。 ・穿刺部とその周囲の異常がないことを確認します。 ・点滴を2本続けてします。医師の指示により本数の変更があり、場合によっては翌朝まで続きます。	・穿刺部位の絆創膏の交換をします。 ・点滴がつながっている場合は、検査結果をみて終了となります。
検査	・医師の指示があればレントゲンや採血、心電図検査を行います。			
安静	・制限はありませんが、医師・看護師からの説明・処置がありますので、できる限りお部屋でお過ごしください。		【足からの検査】穿刺部位を圧迫している間(2～4時間)は仰向けで寝て、足を曲げたり、横を向いたりできません。医師の許可ができればベッド上で座ることができます。 【手からの検査】検査後1時間はベッドで安静にして頂き、その後は病棟内安静となります。肘と手首から穿刺した場合は翌朝まで曲がらないように柔らかい板で固定します。	【足からの検査】検査後初めての歩行は看護師と一緒にを行います。問題がなければ特に制限はありません。 【手からの検査】肘と手首の固定板は朝食前に外し、肘もしくは手首を曲げることができます。
食事	・心臓病食(1600Kcal・塩分6g)が出ます。 ・検査開始時間により食事摂取時間に変更があります。 ・特別な栄養管理の必要性：無し		・検査後より水分や食事の摂取は可能です。 ・検査後3時間で500mlの水分をとってください。	
排泄	・病棟内または室内トイレをご利用ください。		【足からの検査】排泄はベッド上で行います。 【手からの検査】病室内のトイレをご利用ください。	・検査後初めての歩行の確認後問題なければ病棟内または室内のトイレをご利用ください。
清潔				・本日よりシャワー可能です。穿刺部位の絆創膏はシャワー前にはずしてしてください。 ・検査後2日目から、入浴ができます。
リハビリ	・総合的な機能評価：該当する場合別紙にて評価			
説明	・医師より検査について説明がありますので、同意書に署名後、看護師にお渡しください。 ・看護師より検査と入院中の予定について説明します。 ・病棟の案内、面会時間など、病院の規則について説明します。 ・準備していただくものについて説明します。 (準備物品：お水、お茶など500ml程度・曲がるストローまたは吸い飲み・T字帯またはおむつ1枚)		・検査後3時間の尿回数(または尿量)と飲水量を確認します。 ・帰室後はお部屋に状態の観察に伺います。気分不良や胸痛、穿刺部位の痛みや出血などの症状がありましたら、遠慮なく看護師にお知らせください。	・カテーテル説明室で医師より検査結果の説明がありますので、できるだけご家族の方と一緒に聞いてください。説明室には係りのもののご案内します。 ・退院後の生活について看護師が説明を行います。 ・穿刺部位の出血や腫れ、痛み、高熱など症状を認めた場合には早期に受診してください。 ・診断書が必要な場合は1-15番窓口で受付してください。

※今回の入院につきまして現時点での診療計画は以上の通りです。なお、この説明は現在の病状から予測される範囲のものです。□
※病状等に変化がございましたら、その都度ご説明をさせていただきます。ご不明の点がございましたらお申し出ください。

主治医：
説明者：

担当看護師：

病棟薬剤師：

上記の入院診療計画について説明を受け、了承しました。
患者(家族あるいは代理人)署名

氏名：